

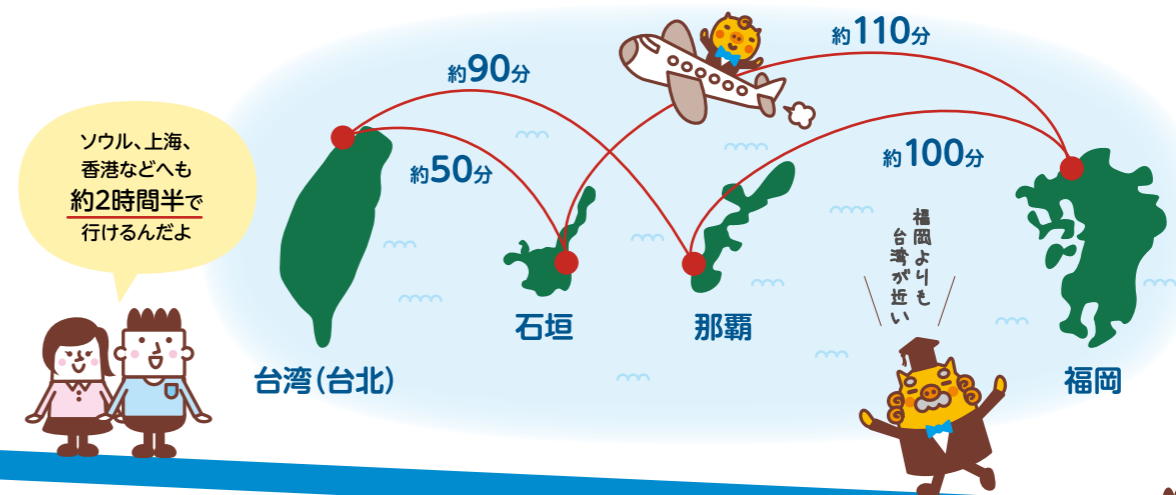
## Q1 アジアってそんなに近いの?

**A** 台湾だと沖縄からたった90分。本土のどの大都市よりも近いよ。

沖縄は、アジアの玄関口として発展し続けています。3時間圏内で、ソウル、上海、香港などの主要都市に行くことができるということからも、日本の他の都市よりも地理的に優位なことがよくわかるでしょう。ここでは、沖縄に最も近い外国である台湾の例を挙げてみます。

那覇から台北までは、直線距離にして627km。飛行機でおよそ90分です。那覇から福岡まで行くのにおよそ100分かかることを思うと、その近さもわかるでしょう。

さらにいえば、新石垣空港から台北まではおよそ310km。50分ほど飛行機に乗れば外国へ行くことができるのです。沖縄がアジアのハブとして大きく発展する可能性を持っていることが、このことからよくわかるのではないのでしょうか。



## Q2 共通点が多く、つながりは深い?

**A** 琉球王国時代から交流があったので、よく似た文化が見られるよ。

沖縄は、琉球王国時代からアジアと日本の貿易の中継地として非常に重要な位置にありました。そのため、アジア各地の文化が大きく影響しています。とくに台湾とは、その近さからひんぱんに行き来があったこともあり、共通点が多く見受けられます。

### けっこう似てる!? 沖縄と台湾の共通点

台湾	大龍峒保安宮	首里城	沖縄
	風獅爺(フーシーイ)	シーサー	
	冥紙(ミンジ)	打ち紙	
	お墓	亀甲墓	

例えば、琉球王国の象徴でもある首里城の正殿。赤を基調とした色鮮やかな色彩や、龍を配した屋根など、大龍峒保安宮や龍山寺といった台湾の歴史的建造物と共通する部分がいくつもあります。また、風獅爺(フーシーイ)といわれる台湾の石像獅子は、沖縄のシーサーとそっくり。他にも似た文化や同じ風習がいくつもあり、お互いの距離の近さを実感させられます。

## Q3 今ほどどんな交流が行われているの?

**A** 台湾と沖縄それぞれで、お互いの文化をアピールするイベントが盛んに行われているよ。

近年、沖縄とアジアとの交流はますます盛んになってきています。本土を經由することなく、沖縄が独自でパイプ作りを続けている効果が出てきているといってもいいでしょう。

とくにイベント関連は非常に充実しています。台湾では、沖縄の食や観光をアピールする見本市や商談会の他、アートや音楽を紹介する場が徐々に増えています。ユニークなところでは、沖縄の美容関連商品や沖縄産コーヒーを台湾で紹介する企画などもあり、どんどん細分化しながら、多角的に沖縄の魅力を伝える取り組みが進んでいます。

また、逆に沖縄でも、台湾の文化を広めるためのイベントやフェアなどが盛んになっており、双方のやりとりが活発化しています。今後距離の近さや、文化の共通点を最大限に生かしながら、新しい文化交流が進んでいきたいと思います。

## in 台湾



**沖縄文創市集 Vol.3**  
2018年11月開催。沖縄の作家によるアート作品や雑貨などを出展した芸術見本市。紅型、写真、島ぞうりなど多彩な内容で沖縄の文化をアピール。音楽イベントやフードの屋台などもあり好評でした。

**沖縄ナイト in 台湾**  
2018年9月開催。これまでの沖縄観光振興に尽力いただいた台湾の関係者へ、感謝の意を伝えるためのイベント。セミナーや商談会も行われ、沖縄と台湾の関係者が集まり交流の場になりました。



**島嶼音楽季 (とうしょおんがくさい)**  
2018年6~7月開催。音楽を通じて、沖縄と台湾がより良い協力関係を構築することを目的とした音楽イベント。沖縄からはKACHIMBA4などが参加。コンサートやワークショップなどが行われました。

## in 沖縄



**台北事務所の紹介**  
沖縄県台北事務所  
吉永 亮太

台北事務所は設立約30年。実は台湾の自治体関連の事務所としては最も歴史があります。業務範囲は、観光、企業間のマッチング、文化交流など多岐にわたります。沖縄と台湾は距離的にも近い関係があり、その交流の歴史は古く、現在も活発な交流があります。

### 瀬長島夜市

2018年9月開催。瀬長島ウミカジテラスにて、台湾の夜市をイメージしたグルメ屋台を展開。台湾から本場の料理人が来日し、魯肉飯(ルーロンファン)や牛肉麵といった本格的な味が好評を博しました。



### 台湾フェア 2018

2018年12月開催。「美麗寶島(びれいたからじま)との出会い」というタイトルで、台東・花蓮県の名産を紹介した物産展。本場のグルメ、伝統工芸からアミ族のダンスまで様々な企画が行われました。

※アジアには台北事務所以外に、香港事務所、上海事務所、北京事務所、シンガポール事務所、福州駐在所があります。

距離も文化も近いアジアとの交流を更に深めていきたいね!